

阿見町(あみまち)

	町章 〒 300-0392 〈住所〉 稲敷郡阿見町中央一丁目1番1号 〈TEL〉 029-888-1111 〈FAX〉 029-887-9560 〈HP〉 http://www.town.ami.lg.jp 〈e-mail〉 seisakukikakuka@town.ami.lg.jp	地域指定 都市開発 特定防衛施設	一部事務組合加入事業 退職手当 消防賞じゆつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 し尿 火葬場・斎場 消防 共同研修	法人番号 3000020084433 公営企業 <small>※令和8年3月31日現在</small> 法適用(上水 公共下水 農業集落排水)
	類型 V-2 地方公共団体コード 084433 面積 71.40 km ²			

<行政組織>

①長等(令和8年5月1日現在)

長	ちば しげる 千葉 繁 (63歳)	任期	令和12年3月19日
副町長	服部 隆全	就任回数	3 期目

②議会(令和8年5月1日現在)

議長	久保谷 実	副議長	石引 大介
任期	令和10年3月31日	条例定数	18 人
党派別	公明2人、立憲民主1人、共産1人、幸福実現1人、れいわ新選組1人、無所属12人	現議員数	18 人

③職員数(令和7年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
431	398	346	33
一般行政職の平均給料月額	3,034 百円	ラスパイレース指数 98.1	地域手当補正後ラス指数 98.1
全職員数の推移	令和4年4月1日	令和5年4月1日	令和6年4月1日
	340	358	374

④機構図(令和8年4月1日現在)

<町長>
 <副町長>
 町長 公室一秘書広聴課(広報戦略室)、政策企画課、人事課、行政経営課
 総務部一総務課、財政課、管財課、税務課、収納課
 町民生活部一町民活動課(男女共同参画室)、町民課、防災危機管理課、生活環境課、廃棄物対策課
 保健福祉部一社会福祉課、高齢福祉課、こども未来課、国保年金課、健康づくり課、おやこ支援課
 産業建設部一都市計画課(市街地整備推進室)、道路課、都市整備課、農業振興課、商工観光課(ふるさと納税推進室)、上下水道課
 <会計管理者>
 会計課
 <教育委員会>
 <教育長>
 教育部 長一学校教育課、生涯学習課、中央公民館、図書館、学校給食センター、文化課(予科練平和記念館)、指導室
 <農業委員会>
 農業委員会事務局
 <議会>
 議会事務局

<概要>

①沿革

昭和30年4月1日 合併 阿見町 朝日村 若原村 舟島村(大字舟子を除く)

②地勢・風土等

阿見町は茨城県の南部に位置し、日本第2位の面積を誇る霞ヶ浦の南岸に面している。 首都東京へは南に約60km、県都水戸へは北に約40km、成田国際空港へは東南に約30kmの位置にあり、東京、水戸へはJR常磐線や常磐自動車道を利用して約1時間の距離にある。東西に11km、南北に9kmの広がりを持ち、平均海拔は21mとおおむね平坦な地形となっている。
--

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (令和8年4月1日)	
	平成22年	平成27年	令和2年		
人口	男	23,794	23,496	24,237	25,373
	女	24,146	24,039	24,316	25,397
	合計	47,940	47,535	48,553	50,770
世帯数	17,969	18,801	20,225	22,797	

④有権者数(令和8年3月2日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	20,531	20,663	41,194	27.9 %

<産業・経済>

①生産・所得(令和5年度)

市町村内総生産	2,873 億円	住民所得	1,671 億円
		人口1人当り住民所得	3,343 千円

②産業構造

区分	総生産額(令和5年度)	就業人口(令和2年国調)
第1次	1,873 0.7 %	859 3.7 %
第2次	173,037 60.2 %	6,284 27.1 %
第3次	109,687 38.2 %	16,049 69.2 %
総額・総数	287,305 -	23,192 -

③農業・工業・商業

農業 (令和2年2月1日)	農家数	主業農家数	農業就業人口
	700	101	893
製造業 (令和6年6月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (R5.1.1~12.31)
	96	7,327	392,717
卸・小売業 (令和4年6月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (R3.1.1~12.31)
	312	2,641	57,134

④特産物

ヤーコン、スイカ、阿見グリーンメロン、レンコン、たけのこ、常陸秋そば

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	令和5年度決算	令和6年度決算	増減率
歳入	19,208,991	22,167,718	15.4
歳出	18,475,342	21,521,940	16.5
形式収支	733,649	645,778	-
実質収支	538,922	465,082	-
単年度収支	△ 749,167	△ 73,840	-
実質単年度収支	△ 749,165	△ 673,837	-

②主な歳入・歳出(令和6年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	22,168	-	2,959	15.4
地方税	8,871	40.0	164	1.9
地方交付税	1,125	5.1	△ 82	△ 6.8
国庫支出金	3,817	17.2	743	24.2
地方債	2,203	9.9	1,496	211.6
うち臨財債	35	0.2	△ 58	△ 62.4
その他	6,152	27.8	638	11.6
うち繰入金	770	3.5	695	926.7
歳出	21,522	-	3,047	16.5
義務的経費	9,961	46.2	938	10.4
人件費	3,410	15.8	382	12.6
扶助費	4,960	23.0	600	13.8
公債費	1,591	7.4	△ 44	△ 2.7
投資的経費	3,888	18.1	2,302	145.1
普通建設事業費	3,888	18.1	2,302	145.1
うち補助	1,324	6.2	586	79.4
うち単独	2,557	11.9	1,713	203.0
その他の経費	7,673	35.7	△ 193	△ 2.5
うち繰出金	1,529	7.1	51	3.5

③主要指標(令和6年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (13.15)
連結実質赤字比率	- % (18.15)
実質公債費比率	4.5 % (25.0) [6.7]
将来負担比率	- % (350.0) [27.8]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和7年度)	0.875	[0.666]
経常収支比率	96.8 %	[93.0]
標準財政規模(令和7年度)	11,770 百万円	[17,283]
地方債現在高(A)	14,256 百万円	[25,031]
債務負担行為支出予定額(B)	156 百万円	[5,771]
積立金現在高(C)	5,160 百万円	[7,792]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	9,252 百万円	[23,010]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和6年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	2,769,476 (30.4)	2,631,737 (29.7)	95.0 [97.0]
市町村民税・法人 (構成比)	752,843 (8.3)	749,422 (8.4)	99.5 [98.8]
固定資産税 (構成比)	4,359,951 (47.8)	4,273,234 (48.2)	98.0 [97.4]
市町村税合計 (国保除く)	9,121,221	8,871,119	97.3 [97.4]

<公共施設整備状況>(令和6年度)

※1は令和7年度
道路改良率・舗装率は令和5年度

小学校 ※1	7 校	体育館	5 か所
中学校 ※1	3 校	プール	1 か所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	1 か所
幼稚園 ※1	2 園	老人福祉施設	27 か所
保育所 ※1	8 か所	病院・一般診療所	30 か所
認定こども園 ※1	3 園	道路改良率	36.3 %
図書館	1 か所	道路舗装率	64.3 %
公営住宅	283 戸	上水道等普及率	90.5 %
公民館等	7 か所	汚水処理普及率	98.1 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
温水プール整備 事業	R6 ~	学校プールを集約し、町民が通年で利用できる屋内プールを整備する。	84 (R8)
牛久阿見IC周辺 開発事業	R5 ~	R8から阿見実穀地区工業団地造成関連事業が県施行により実施されるため、県と連携して事業に取り組む。	42 (R8)
つくば霞ヶ浦りん りんロード整備 事業	R5 ~	花室川河口への架橋による新たなサイクリングロードの整備を行う。	160 (R8)
学校施設屋内運 動場空調設備設 置事業	R8 ~	熱中症リスク低減のため、小中学校の屋内運動場に空調設備を整備する。	201 (R8)
給食費無償化事 業	R8 ~	国の小学生の給食費無償化に合わせ、町で中学生を無償化することで、学校給食費を完全無償化する。	33 (R8)

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・地域力が高く誰もが幸せに暮らせるまちづくり
- ・ごみ処理施設の広域化
- ・地域における防災力の向上
- ・ふるさと納税の拡充

<特色ある行政>

- ・SDGs未来都市の推進
- ・子育て支援の充実(ランドセルの無料配布、中学校新入生入学祝い品支給、第3子以降出産祝い金支給、学校給食無償化、18歳までの医療費無料化、子育てアプリあみLinkなど)
- ・地域の人材育成(あみ未来塾・高校生会・地域予算制度)
- ・民間保育士等の処遇改善のための助成